

たつの市定例記者会見資料	
発表年月日	令和8年5月7日（木）
担当課	教育事業部歴史文化財課
電話	0791-75-5450

報道機関各位

「龍野惣絵図」が市指定文化財に

たつの市教育委員会は、本年4月28日付けで、下記の文化財を市指定有形文化財に指定しました。

記

- 文化財名称 紙本手書手彩 龍野惣絵図
- 所有者 たつの市
- 所在地 たつの市立龍野歴史文化資料館（たつの市龍野町上霞城 128-3）
- 文化財の概要と特徴 別紙参考資料参照
- 取材について
 - 指定文化財の写真提供
広報秘書課を通してデータ提供
 - 専門家
大場 修氏(たつの市文化財審議会会長・建築)
立命館大学衣笠総合研究機構歴史都市防災研究所
TEL：075-467-8773（研究室直通）
 - 絵図全般について
原寸大複製絵図(陶板製)は龍野歴史文化資料館にて常設展示
担当：歴史文化資料館館長 新宮 義哲
TEL：0791-63-0907
- 文化財の公開 秋期龍野歴史文化資料館企画展にて特別公開
令和8年10月24日（土）～11月29日（日）

別紙参考資料

1 名 称 紙本手書手彩 龍野惣絵図

2 年 代 寛政 10 年 (1798 年)

3 法 量 215.8 cm × 400.6 cm

4 員 数 1 舗

5 種 別 歴史資料

6 内 容 現在知られている龍野城下町絵図のうち、最も大きく詳細な絵図である。寛政 10 年 (1798) に描かれた絵図で、龍野藩主であった脇坂家や旧家臣が、明治時代に龍野神社へ奉納した宝物の一つと考えられる。平成 26 年、たつの市が龍野神社の関係者から購入した。

龍野城下町の全体を、一間を一分とする縮尺(1/600)で正確に描き、色の塗り分けによって土地の用途を示している。鶏籠山と白鷺山は、紙を貼り合わせることで絵が立ち上がる立体的な構造になっているほか、植生を詳しく描き分けるなど自然景観の描写も緻密で、環境空間の復元などにも有用な絵図と思われる。

また、土地の一筆ごとに間口幅と奥行の寸法、住人の名前などを書き込み、借家の場合には、家の持ち主と借り主の名前を併記している。さらに、町家と長屋には、建物の梁行(奥行)の寸法を書き込み、建物の規模を示し、建築史上も希少な絵図である。町人地を含む龍野城下町の全体について、具体的な居住内容を記載した絵図は類例がなく貴重である。

なお、寛政 10 年以降に敷地の区画や居住内容が変化した場所は、貼り紙で修正されている。それらに記載された内容から、本資料は少なくとも天保期前半ごろ(1830 年代)まで使用されていたと考えられる。

このように、本資料は龍野城下町の歴史的な町割りや土地利用、その変遷を示した絵図であり、たつの市にとって歴史上価値が高い。また、絵図に描かれた一部の家屋が現存しており、絵図の情報と現況とを比較することができる点で学術上価値が高い絵図である。



龍野惣繪圖



繪圖の大きさ



繪が立ち上がる立体的な構造



原寸大複製繪圖(陶板製・龍野歴史文化資料館)

★右の二次元コードから龍野惣繪圖の高精細画像を閲覧できます。



【参 考】 主要な龍野城下町絵図の一覧

	名称	年代	法量	所蔵
1	播磨立野城図		54.0×60.2	龍野歴史文化資料館
2	播州立野城図	正保～明暦頃（1640～50年代）	180.5× 144.4	龍野歴史文化資料館
3	播州龍野之絵図	寛文12年（1672）	216.8× 251.7	龍野歴史文化資料館
3-2	（太田町）		173.8× 31.2	
3-3	（新町・北龍野）		184.0× 87.3	
3-4	（日山・小神）		215.5× 60.7	
3-5	（下町・日山）		173.5× 45.8	
3-6	（川向）		44.2×45.2	
4	播州龍野絵図	宝暦2年（1752）10月	216.5× 181.2	龍野歴史文化資料館
5	播州竜野之図	明和4年（1767）9月～6年12月	116.8× 95.8	龍野歴史文化資料館
6	龍野絵図	天明8～寛政2年（1788～90）	189.2× 189.0	龍野歴史文化資料館
7	龍野惣絵図	寛政10年（1798）6月	215.8× 400.6	龍野歴史文化資料館
8	龍野城図	江戸時代（近世写）	115.8× 104.7	龍野歴史文化資料館
9	龍野城図	江戸時代後期	102.5× 70.4	龍野歴史文化資料館
10	龍野城郭之図	明治4年（1871）	89.4×84.3	龍野歴史文化資料館
11	龍野町絵図	明治9年（1876）	257.0× 239.2	龍野歴史文化資料館